

経営比較分析表（令和元年度決算）

佐賀県 江北町

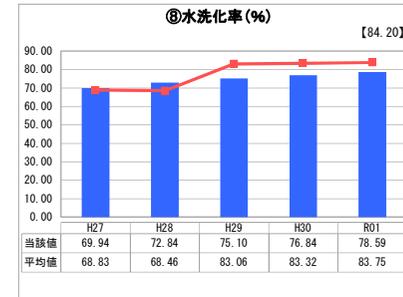
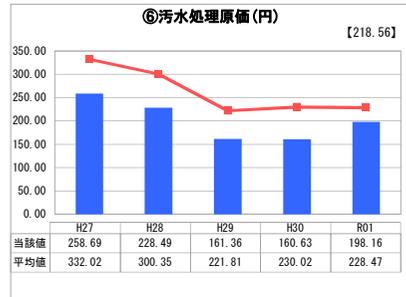
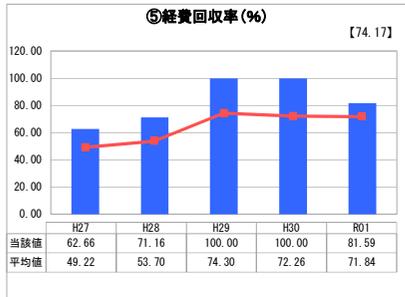
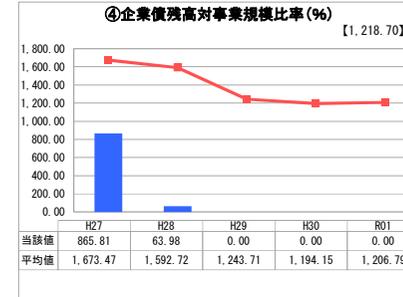
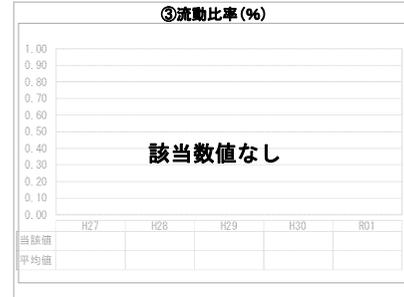
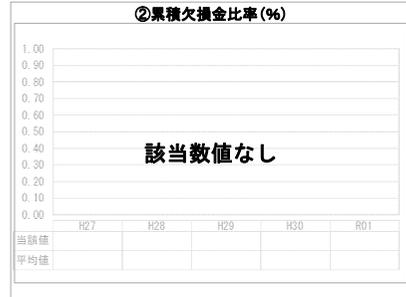
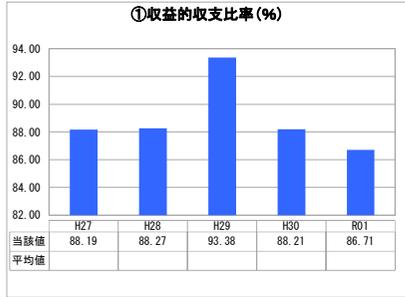
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	77.22	100.00	2,990

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,741	24.49	397.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,488	2.56	2,925.00

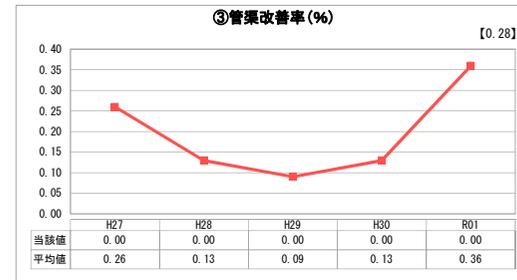
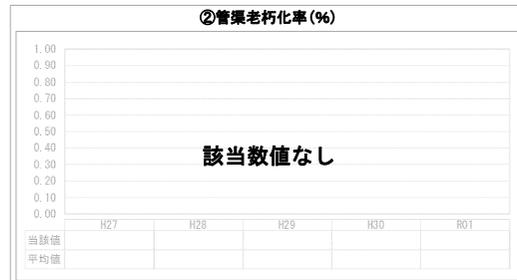
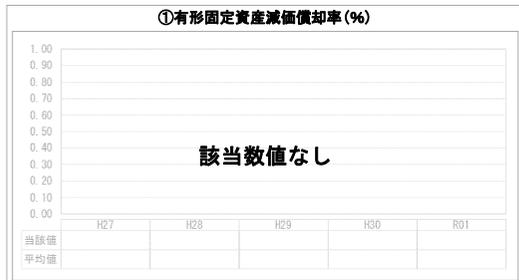
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

ここ数年は、下水道使用料が接続戸数の増により増収傾向にあるが、供用開始から15年以上経過しているため、令和元年度は突発的に処理場の槽などの修繕工事が発生している。今後も供用開始が早い区域でのマンホールポンプ・中継ポンプ場の機械電気設備の修繕が発生する可能性が非常に高い。また、建設当時の起債償還に加え、第3期地区の管渠整備での起債償還が始まり、元利償還金も年々増加している。

企業債残高対事業規模比率、経費回収率、汚水処理原価、施設利用率は他団体よりも良好であるため、今後も維持管理費内の必要経費を精査し、より一層効率化を図る。

水洗化率も右肩上がりとなっているが、平成29年度より全国平均及び類似団体平均を下回っているため今後は広報等による情報発信により接続推進を強化し、水洗化率向上につなげる。

2. 老朽化の状況について

施設の耐用年数を考慮した長期的なストックマネジメント計画により更新を行い、維持管理と更新費用の平準化を図る。また定期的な点検により施設の不具合を早期に見発する。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業は、管渠整備がほぼ完了しているため、今後は適正な維持管理と計画的な更新事業を行い費用の平準化を図りつつ、早期に地方公営企業法の適用、経営改善に向けた経営戦略の見直し、維持管理費に見合った使用料の改定により一般会計からの繰入に依存している現状を改善する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。